



ぶらり神戸第 27 号

令和 3 年 12 月

## 「国際都市“神戸”を物語る外国人墓地」

神戸というと、国際性豊かな都市というイメージがあります。街を歩いていると、外国の方に会うことは珍しいことではありません。しかし、今から 150 年前まではそんな感じではなかったのです。大きな転機は、幕末に開国し、兵庫港開港で漁村であった神戸村に外国の方が商売のために訪れたことから変化が生じてきます。



今回訪ねた神戸市立外国人墓地は、幕末の慶応 3（1867）年小野浜（現在の中央区浜辺通り付近）

に設置されたことが始まりです。明治 32（1899）年には、春日野（現在の中央区籠池通 4 丁目付近）にも設置されました。



しかし、両墓地がいっぱいになり、昭和 27（1952）年この地に移転されました。現在約 60 カ国、約 3000 の墓碑が、宗教別に並んでいます。

この点においても国際都市“神戸”を感じることができます。

